



小島 智恵 議員
(政風クラブ)



ふるさと寄附で全国的にも注目される上土幌町では、

寄附金を先進的に活用し、「選択と集中」を掲げ、子育て少子化対策への重点的な取組により、20、40歳代の移住者が増え、人口増加へ成果を上げている。幕別町でも、寄附金の使途をPRすることに より、応援者をさらに拡大していく取組が必要と考え、以下について伺う。

- (1) 寄附の実績、地域経済にもたらした影響は。
- (2) 寄附金を充当して実施した事業と充当金額は。
- (3) 今後の寄附金活用の見解と使途を積極的にPRする考えは。

町長 (1) 特産品の返礼を伴う寄附金の年度別実績は右下表のとおり。寄附額の約40%が返礼品の品代として協力事業者の売上となっており、直接的な影響額として約3億円、そのほか店舗や設備の拡大、従業員の増員などが考えられる。さらには原材料や燃料・動力

問 ふるさと寄附金の使途を積極的にPRし、応援者をさらに拡大する取組が必要では
答 寄附者の思いを大切に、目的に沿って有効に活用できるよう、より一層PRに努める

特産品の返礼を伴う寄附金の実績

	寄附件数	寄附金額
平成27年度(12月から実施)	4,500件	6,652万1千円
平成28年度	2万2,968件	2億7,650万4千円
平成29年度(1月末現在)	3万5,430件	4億258万8千円
累計	6万2,898件	7億4,561万3千円

費等の納入業者が受ける間接的な影響も含め、一定程度の波及効果が生じている。

(2) 平成28年度は、3歳以上児の主食提供事業用備品や後継牛確保対策事業補助金、札内コミュニティプラザ備品購入など5事業に824万8千円を充当。29年度は緊急農用地排水改善対策事業補助金や修学旅行費支援事業補助金、マイホーム応援事業補助金など10事業に1億3825万3千円を充当し、これまで15の事業に1億4650万1千円を充当した。

(3) ふるさと寄附は、条例に基づき事業に対し寄附を受けるもので、その活用は、寄附者の思いを大切にしながら、その目的に沿った形

で有効に活用しなければならぬ。寄附金の使途は、毎年、広報9月号で、その年度の寄附件数・金額、事業別の寄附金額や運用状況、主な使い道について公表している。今後は、町のホームページでの公表を行い、寄附者に対し個別に報告を行うなど、応援者を増やすための取組を行いたい。これらを通じて将来の交流や移住へと発展していくことを期待している。さらに、平昌オリンピックで大活躍した高木姉妹をはじめ、オリンピックアスリートの生まれ育った町であることをふるさと寄附ウェブサイトで紹介し、寄附者の関心が得られるよう、より一層PRに努めたい。

問 朝ドラ100作目「夏空」の誘致を
答 十勝の受け皿である帯広観光コンベンション協会と積極的に協力していく

問 全国の自治体では競い合うようにして「フィルム・コミッション」といわれる撮影の

誘致で自治体のPRに成果を上げている所もある中、朝ドラ100作目で節目となる「夏空」のロケ地に十勝が選定された。先日の平昌オリンピックでは女子パシュート金メダル獲得をはじめ幕別町出身の高木姉妹の大活躍により、幕別町の名が全国に知られ、今後の取組に期待し、以下について伺う。

(1) 全国に町をPRするべく「夏空」ロケ地を誘致する考えは。

(2) 十勝エリアに来客が見込まれ、わが町に足を運ばせる手立てが必要と考えが見解は。

町長 (1) 全国的にも関心度が高く、本町を含め十勝をPRする絶好の機会と捉えており、その後のロケ地巡りなどの観光の入込も期待され、十勝の地域経済にとっても大きな効果があると考えている。今後も制作に必要な情報収集やロケ候補地の情報提供など、帯広観光コンベンション協会の取組に対し積極的に協力していく。

(2) パークゴルフをはじめ、温泉施設、郷土文化施設、展望施設など、点在する観光素材をつなぎ合わせ、ルート化することで戦略的な周遊プランを創出し、関係団体と連携を図りながら、活力のあるイベント等を実施することにより、交流人口の増加に努めていく。